

コ ン テ ン ツ	PMS資格試験 受験生募集中 PMR資格 第2次コース試験 実施中 新しいIP2M資格制度 PMC資格 ご案内 PMS講習会 全国で実施中 第4回 P2Mクラブの集いを実施 企業向けP2M説明会を実施 P2M研究会セミナーを実施 P2Mクラブ新春全国大会 ご案内	vol.11 2004.12 PMCCニューズレター  特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター
-----------------------	--	--

P2Mのニューステージ



PMCC 普及委員長
花崎 良政

P2Mは価値を創るPMです。
P2Mの真価は、問題解決のために「高い視点と広い視野で、全体最適の発想と仕組み作り」にあります。今、企業経営には縦割り分業の壁を破り、価値創造に挑戦する「人づくり」PMリーダー育成が求められています。こうした要請のためPMCCはこの3年間資格認定を推進しPMS資格合格者も1330名となりました。さらに来年2月20日に資格試験を実施します。来年中には2000名に近づくことと思います。PMS資格は着実に認知が広がりつつあり、これを人材開発・育成の重要な位置づけにされる企業も数十社を超える状況となりました。

P2Mクラブ会員も全国に広がり、地域例会も活発に始まっています。また各地で実践事例も出てきています。

本年11月から、PMRの資格試験を実施しています。PMR資格試験は、PM分野で世界的にも大きな注目の的となっています。今後もPMR資格者の拡大を図る予定です。

来年度より、新たにP2Mの基礎知識レベルのPMC資格を導入する予定です。この資格は、これからPMを勉強する方々、プロジェクト実務を担当している方々を対象としております。愈々P2Mはニューステージに入ります。広報普及活動も着実に進め、P2Mの知名度を高めてまいります。ご支援をお願いいたします。

会員企業の皆様へ 10名以上のPMS合格者を出している企業を訪問インタビューしました。私どもが思っていた以上に、資格を有効に活用されている事例が出ています。是非ご参考にしてください(「P2Mを仕事に活かしている人の声」)。PMS、PMRは皆様企業運営の方々の活用次第です。是非P2Mの活用をお願いいたします。

PMS資格試験 受験生募集中

来る2月20日(日) 平成16年度第2回(第6回)PMS資格試験が実施されます。今回は東京・大阪・札幌・名古屋の全国4会場で実施いたします。

試験日: 2月20日(日)

申込締切: 1月24日(月) 当日消印有効

試験会場

- <東京会場> 工学院大学新宿校
- <大阪会場> マイドームおおさか
- <札幌会場> NSS・ニューステージ札幌
- <名古屋会場> 中産連ビル

詳しくは、PMCCホームページでご確認下さい。

また、募集ポスターを作成いたしましたので、会員企業におかれましては、社内に掲示し積極的な受験応募のご推奨をお願いいたします。



PMR資格 第2次コース試験 実施中

平成16年度 第1回プロジェクトマネジャー・レジスタード(PMR)の第2次コース試験が、12月7日(火)からスタートしました。第1次総合試験合格者を対象とし、プロジェクトの事例を取り入れ、プロジェクトマネジメント全般に共通する能力要素を基に実践力を判定するコースとなっています。第2次コース試験のカリキュラムは10モジュールで構成されており、各モジュールは産業別ケースのテーマを設定しています。



約3ヶ月に渡る10モジュールのコース試験と中間・最終面接審査を経て、平成17年3月28日(月)に合格発表の予定です。

Topics

新しいP2M資格制度 PMC資格 ご案内

平成17年度より、P2Mの新しい資格制度PMC（プロジェクトマネジメント・コーディネータ）の実施を予定しています。新しい資格PMCは、プロジェクト遂行実務者およびプロジェクトリーダー候補者を対象とした、アジアのシニアマネジメントに近い新しいイノベーション型ニーズに適合した資格制度となります。詳細が決まりましたら別途ご案内いたしますので、企業の人材開発担当部門には、社内の人材育成プログラムにご活用頂きますようお願いいたします。

■PMC資格の意義

1	クロスファンクショナル業務レベルに壁を開ける
2	発想と仕組みでプロジェクト運営知識（コーディネータ知識）をつかむ
3	プロジェクト実践知識（進捗管理）を身に付ける
4	プロジェクト実践者としての社会的認知を獲得する
5	国際的なプロジェクトマネジメント資格の相互互換認証に必要

■P2Mの4段階資格制度の対象と認定基準

	【対象】	【資格認定基準】
PMA	・プログラムマネジャー	プログラム創出力
PMR	・ゼネラルマネジャー ・プロジェクトリーダー	実践力・応用力
PMS	・プロジェクトマネジャー ・プロジェクトリーダー ・スペシャリスト	P2Mトータル知識
PMC	・プロジェクト遂行実務者 ・プロジェクトリーダー候補者	PM遂行基礎知識

PMS講習会 全国で実施中

2月20日（日）に実施される平成16年度第2回PMS資格試験に向け、東京・名古屋・大阪会場で、平成16年度第2回PMS講習会が実施されています。第5回PMS資格試験では、68.7%という高い合格率を出したPMS講習会には多数の受講生が参加。厳しい寒さの中P2Mの学習に取り組んでいます。



第4回 P2Mクラブの集いを実施

10月14日（木）、シドニー工科大学教授 リン・クロフォード博士とIPMA副会長 Adesh Jain氏を招いて、「第4回P2Mクラブの集い」を開催しました。リン・クロフォード博士は「プロジェクトマネジメントへの挑戦」のテーマで講演、さらにAdesh Jain氏からはIPMAとICBの取組み報告、2005年度のIPMA国際大会の案内がありました。



企業向けP2M説明会を実施

P2Mの普及を目的として直接企業にお伺いして、社内向けのP2M説明会を実施しています。9月9日（木）には、（株）CSK。10月6日（水）には日本ユニシスグループで行いました。説明会の内容は、小原教授による「新実践知識体系とそのニューステージ」の講演と石倉事務局長の「P2M普及促進の意義」についての講演、質疑懇談等です。



来年1月17日（月）には、（株）NECユニバーシティで予定しています。ご希望の会社は、PMCC担当 黒木までご相談ください。（敬称略）

P2M研究会セミナーを実施

11月28日（日）、「複雑なプロジェクトをマネジメントする方法 - 建設・不動産から見たP2M -」のテーマでP2M研究会セミナーを実施しました。休日の開催にもかかわらず100名を越す参加者があり、日本技術開発（株）山本宏一氏、りそな総合研究所 名取直美氏、鹿島建設（株）太田鋼治氏の取組み事例報告に耳を傾けました。



P2Mクラブ新春全国大会 ご案内

平成17年2月11日(金 祝日)、「P2Mクラブ新春全国大会」を全国ライブ中継で実施を計画しています。東京会場と各地の会場(札幌・名古屋・大阪・福岡・沖縄 他)をインターネットで結び、東京会場から中継しての全国大会といたします。現在、開催できる地区を会員の方々と企画中です。

日 時：平成17年2月11日(金 祝日) 13:30～

東京会場：㈱NECユニバーシティ 技術研修所大講堂
神奈川県川崎市中原区下沼部1753

プログラム(予定)

- ・基調講演
「複雑系プロジェクトにおけるP2M」
シドニー工科大学 小原教授
- ・P2M事例発表…………… P2Mクラブ会員

P2M・広島セミナーを実施

11月13日(土)、広島県産業技術交流センターで「P2M・広島セミナー」を開催、60名が参加しました。

小原教授の「プロジェクト成功への条件」の講演の他、松寿高一氏の「中小企業経営革新事例」、駒宮淳史氏の「三洋電機のビジネスユニット成功事例」、白井久美子氏の「ソフトビジネスとP2M」、平岡武之氏の「地域企業における企業再生と



会員企業紹介シリーズ
アイ・シー・ネット(株)様
P2Mを開発コンサルティング業務へ
応用する

当社は1993年10月に設立以来、国際協力機構、国際協力銀行、世界銀行、アジア開発銀行などをクライアントとし、さまざまな分野で調査、評価、提言作成などの開発コンサルティング業務を実施してきました。また、プロジェクトの計画・立案とモニタリング・評価手法であるPCM

(プロジェクト・サイクル・マネジメント)や組織・制度改善手法の国内でも数少ない研修機関として一定の評価をいただき国際協力の専門家、社会人そして大学生に対する研修を実施してきました。

国際協力分野でもビジネスと同様にプロジェクトそのものを管理する手法としてPMが必要になると考えていたところP2Mに出会い、プロジェクトを管理し、価値創造を目指すP2Mの思想に共感しました。

これからはP2Mへの理解を深め、開発コンサルティング業務へ応用していきたいと考えております。その第一段階として、社内でP2Mセミナーを実施し、20名のPMS資格取得者を出すことができました。第二段階としては、社内のP2Mセミナーを標準化し、研修そのものを商品化することと、当社のプロジェクトでP2Mを実践し、ノウハウを蓄積していくことを目指しております。

P2M」と多彩な講師陣による実践事例に大変参考になったとの声を頂きました。

地区P2Mクラブ例会 活動報告

九州地区 11月20日(土)、第2回九州地区P2Mクラブ例会が開催され、14名が参加しました。例会では参加者による事例発表や今後の活動方針など活発な議論がされました。



関西地区 会員有志による「PBSC」の輪読を中心とした分科会活動(世話人 酒井清則氏)を行っています。10月13日(水)、川崎重工神戸工場の見学を兼ねて第5回分科会を実施、特別講師として小石原健介氏(元川崎重工)のお話を頂きました。



韓国 PROMAT 2004大会に参加

10月28日～29日に行なわれた韓国PM協会、PROMAT(Korean Institute of Project Management and Technology)2004年大会に、PMCCから石倉事務局長が参加。日本におけるP2Mの取り組み報告とP2Mの国際デファクト化に向けたプレゼンテーションを行ないました。

PMCC広場

～PMS資格試験合格者の一言～

私はメーカーに就職後、数年前に経営者・管理者・一般従業員に対する教育等を行う、今の会社に出向してきました。現在は、社員意識調査、お客様満足度調査、そして各種研修の効果測定の設計を担当しています。

メーカーに勤務時の業務は、商品開発だったにもかかわらず、プロジェクト・マネジメントという言葉も知らない状態でした。今にして思えば、目先の、日々の仕事をこなすことで手一杯だったのだと思います。

今の会社に移動してから、たまたま、PMBOK®を知りました。その知識体系に興味を持ち、PMBOK® 関連のセミナーを受けたこともあります。しかし、その時は、内容の濃さに圧倒されるばかりで、習得には程遠いものでした。

工作上、お客様のニーズに合致した調査設計を行うため、何度もお客様とワークショップを行わせていただく機会が多いのですが、ここ1、2年、「プロジェクト・マネジメント」という言葉が、頻繁に話題に上るようになりました。そのたびに、「プロジェクト・マネジメントは知っていて当たり前、ビジネスの共通言語となっている。私の中途半端なプロジェクト・マネジメント知識では業務にならない」と、痛感するようになりました。そこで、今回、PMBOK®よりも大きな概念をもつ、P2MのPMS資格試験に挑戦することにしたのです。今まで、知っていたつもり・習ったつむりのPM知識を総して、改めて再習得の準備を始めることにしました。

試験勉強に時間を割けないので、通勤時・帰宅後など、わずかな隙間時間を見つけてはテキストを開いていました。その膨大な試験範囲に大変苦労しましたが、今まで自分が中途半端に覚えていた、PM知識が整理されていくうれしさと、新しいことを学ぶ楽しさを感じながら、テキストを読み進めていきました。その甲斐あってか、幸運にも合格通知をいただくことができました。

これからは、習得した知識を、さらに自分の業務に活かしていきたいと思っています。

株式会社富士ゼロックス総合教育研究所 田村晴美 様

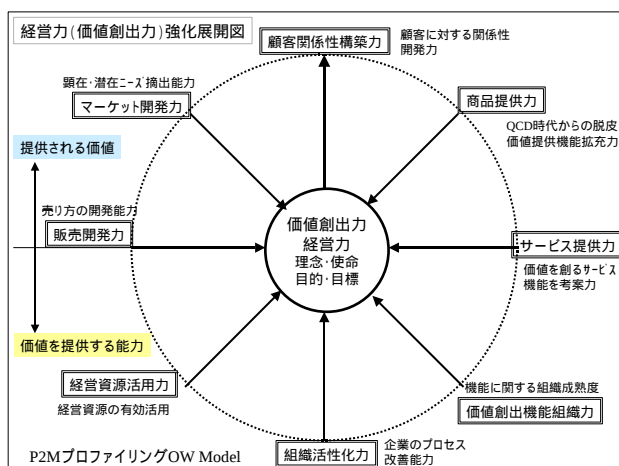
P2Mの活用とその事例

前回「ありのままの姿」と「あるべき姿」の話をしました。文章だけでは理解しにくいので、今回は可視化します。

ここでP2Mの重要な役割を示します。

- (1) P2Mは価値を創るPMです
- (2) 経営力とは価値を創る能力です
- (3) 経営とは顧客との関係性をつくり出すことだと、ドラッカーは言っています
- (4) 顧客に提供する価値とは、通常 商品、サービスです。最近では マーケットの潜在需要を開発する 販売の仕組みを開発することが価値として評価されます。インターネットによるビジネスは売り方の開発で、Webを活用した情報提供が収益となります。
- (5) 企業の価値創出能力は 経営資源を有効活用する 業務をプロセス化して効率よく仕事をする 価値をつくり出す機能組織の成熟度が高いからです。

まとめ：経営力は A 顧客関係性構築力、B 価値提供力（マーケット開発力、販売開発力、商品提供力、サービス提供力）、C 価値を創出する組織能力（経営資源活用能力、組織活性化能力、価値創出機能組織力）となります。この関係を示したのが経営力強化展開図です。今回は経営力強化展開図の効用を説明します。



(芝安曇)